

街を楽しむ 街に住む…を実現したい

県南の中核都市として魅力と競争力を
持つため、中心街の賑わい回復は欠かせ
ない。と、熱意ある市民が集まった「街
づくり・しゃべり場」。今回は、活性化
のための事業案について話し合いました。

本市の中心市街地活性化を図る基
本計画（※）づくりのため、住民
ニーズや事業の方向性などを話し合
う「街づくり・しゃべり場」。

広報10月号でお伝えした「空き店
舗が多い」「街区が長すぎ」「飲食
店がない」などの短所、「街並がきれ
い」「専門店が多い」「イベント
が盛ん」という長所。これらを踏ま



街の賑わいづくりの一步として、商店街、NPO、学生たちが力を合わせ実施しているストリート・フェスタ

中心市街地活性化「街づくり・しゃべり場」

事業プランへ提案いろいろ

アートとの共生や 食の専門街づくり

えて、去る10月に、どんな活性化事
業が必要なのか、できるのか、をテ
ーマに意見を交わしました。
内容は、小規模モールの整備で店

広場・集合住宅で賑わい

舗を集約、集合住宅の建設で街なか
居住を推進、飲食店街をつくり外食
需要を喚起、人が集まりくつろぐ場
として広場や交流施設の設置…など。

要約すると、「線から面」「拡散
から集積」「定住・交流人口の増
の推進が必要ということ。
旧国道4号沿いの南北に長く延び

開け！シャッター

たエリアの密度を高め、業種構造を
十分なものにしたうえ集積し、集
客・居住対策を行うというものです。

また、単なるストア（商店）街か
らショップ（専門店）街への進化、
さしずめ「開けゴマ」とも言えるシ
ャッター撤去やシースルー化、植栽
による街の緑化などの改善策。街角
ミュージアム構想や市街地循環交通
「ぐるっとバス」、歴史への配慮や
タウン誌による情報発信など、多彩
な意見があげられました。

これらの提案を参考に、事業プラ
ンとしての方法、担い手、時期等を
具体化し、基本計画に盛り込んでい
くこととなります。

中心市街地の活性化に関し、多数
のご意見お待ちしております。どしど
しお寄せください。

問い合わせ先 商工労働課

☎ 235111 内線346

事業への主な提案

- ・営業時間の統一など商店街運営の協同
- ・10店舗ほどの小規模モールの整備
- ・業種の充実、同業店の集積
- ・個店のいっそうの専門店化
- ・世代別に客層を絞った店舗集積
- ・ウィンドウショッピングできる店づくり
- ・シャッター撤去やシースルー化
- ・歴史を活かした通りづくり
- ・基金創設で若者など新規出店の支援
- ・事業継承者への優遇措置
- ・第3者による個店の評価制度の創設
- ・街区のユニバーサルデザイン化

- ・集合住宅を建設し市営住宅に借り上げ
- ・店舗や交流施設、住宅などの複合施設整備
- ・高齢者向け住宅・施設の整備
- ・個人病院を集めた医療地区の整備
- ・公園、広場、温浴施設の整備
- ・動物と触れ合いのできる街づくり
- ・郷土料理や特産品開発、物産販売所の整備
- ・ラーメンや焼肉、菓子等の飲食店街の整備
- ・繁華街との連携に屋台村の設置
- ・商店街を紹介するタウン誌づくり

- ・各街区に中通りを整備、土地を流動化
- ・緑地帯で商店街と官庁街、繁華街の連結
- ・植栽で緑いっぱいの街区づくり
- ・美術館と連携した街角ミュージアム構想
- ・街区を活用したイベントの定期開催
- ・動物に関連するイベント開催
- ・地元限定ヒーロー等のキャラクターづくり
- ・路面電車の敷設
- ・中心市街地の循環バス導入
- ・中央バス停のターミナル化
- ・無料駐車場を一定間隔で整備
- ・既存駐車場の利便性・視認性の向上

※十和田市中心市街地活性化基本計画…中心市街地に賑わいと活気を取り戻すため、平成20年度の策定を目指しています。現在、データの抽出、事業ポテンシャルの把握などの調査事業を行っています。